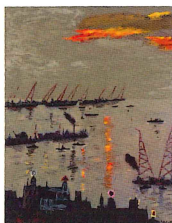
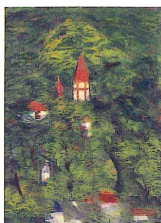


企画展

画家との対話

4月22日(土) ▶ 6月18日(日)

画家はなぜ描くのでしょうか。絵画制作は、個人的な美的感情に発し、造形上の問題とともに、制作準備や作品に込めたメッセージなどさまざまな要素によって完成されます。画家に質問したり感想を伝えたりするように作品を鑑賞し、いつもより深く絵画を味わってみてください。当館のコレクションを展示します。



(左) 角卓《艤景(異人館)》1991年
(右) 小出卓二《神戸港(ポートアイランドを望む)》1974年頃

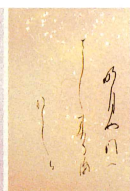
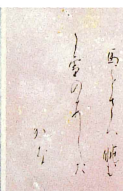
特別展

ながれ・いろどる 墨の世界

安東聖空、深山龍洞、山下摩起 ー神戸市立博物館のコレクションからー

7月1日(土) ▶ 9月3日(日)

神戸のかな書を代表する安東聖空(生誕130年、没後40年)と深山龍洞(生誕120年)そして画家・山下摩起(没後50年)の作品を紹介します。墨は、紀元前の中国に起源を持ち、日本最古の記述として『日本書紀』に存在が確認されます。三人の作家の個性が展開する豊かな世界、墨がながれ・いろどる形象をお楽しみください。



安東聖空《月雪花》1980年 神戸市立博物館蔵

特別展

さくらももこ展

9月16日(土) ▶ 12月28日(木)

まんが家、エッセイスト、作詞家、脚本家といくつもの顔を持ち、新しいキャラクターやエッセイを次々と生み出し続けた稀代のアーティスト、さくらももこの魅力をあますことなくお届けする展覧会です。1986年に連載を開始し、90年のアニメ化以来、大人から子供まで誰からも愛される国民的まんがとなった『ちびまる子ちゃん』をはじめ『COJI-COJI』『もものかんづめ』など代表作の数々を、直筆原稿やカラー原画とともに紹介します。

さくらももこ展 キービジュアル © さくらももこ © さくらプロダクション



第10回 日展

2月17日(土) ▶ 3月24日(日)

「日展」は戦前の官展(文展・帝展)の歴史を引き継いだ日本最大級の総合美術展で、日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5科からなり、令和4年度から3年間、神戸で開催されます。全国を巡回する日本を代表する芸術家による基本作品と、兵庫・大阪・奈良・和歌山の地元作家の入選作品を一堂に展覧いたします。神戸ファッション美術館との合同開催。



- 企画展入館料 一般 200円 (150円)、大学生・65歳以上 100円 (50円)
 - ・ ()内は30名以上の団体割引料金
 - ・ 高校生以下・神戸市在住の65歳以上の方、無料
 - ・ 小磯記念美術館、神戸ファッション美術館の入館券(半券)をお持ちの方、割引
- 入館料は展覧会ごとに異なります

開館時間 午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日 (祝日の場合はその翌日)

7月18日(土)、9月19日(土)、10月10日(土)、展示替などの臨時休館日

詳しくは美術館ホームページでご確認ください